



はんだ付けのコツを教える笠原さん(左)

TOPIC
9
2
13

電波についての正しい知識を学ぶ

土曜サロン「電波って何？」

公民館図書室では、電波適正利用推進員を務めている笠原邦夫さんを講師に招き、土曜サロン「電波って何？」を開催しました。教室には7人が参加し、電波についての正しい知識を学んだほか、ラジオ作りに挑戦しました。

参加者は慣れないはんだ付けの作業に苦戦しながらも楽しそうに作業を進めていました。櫻井俊介くん(6年)は「自分で作ったラジオからちゃんと音が聞こえてうれしかったです」と笑顔で話していました。

TOPIC
10
2
14

白糠のアイヌ文化を世界へ発信

町アイヌ文化をユーチューブで配信

町と白糠アイヌ協会は「ウレシバシラリカ～北海道白糠町からアイヌ文化を世界に！」と題し、ユーチューブで1時間のライブ配信を行いました。

テレビなどでパーソナリティーを務めている高田まゆみさんを迎え、ウレシパチセでアイヌ伝統料理「チエプオハウ」やアイヌ文様の刺しゅう、古式舞踊などを生中継したほか、白糠アイヌ三大祭などのVTRを流しました。同会の磯部恵津子副会長は「多くの方にアイヌ民族のことを知ってほしい」と話していました。



白糠アイヌ文化保存会の会員による古式舞踊の様子

TOPIC
11
2
16

防災情報を確実に知らせる

戸別受信機を全戸設置

町では、防災情報などを受け取る戸別受信機を町内会ごとにお届けし、設置の協力をお願いしています。

この日は、庶路町民センターで庶路1区町内会分77機の戸別受信機を天野義弘町内会長へ手渡しました。

天野会長は「屋外スピーカーは、風向きによって聞こえたり聞こえなかったりするので、戸別受信機があることで聞き逃さずに情報を受けることができるので安心ですね」と話していました。

※関連記事を11頁にも掲載しています。



町地域防災課職員から設置方法等の説明を受ける天野会長(右)